

「春日井市立神屋小学校 出前授業」

水土里ネット愛知用水

令和6年11月18日(月)、春日井市立神屋小学校の4年生児童24名を対象に、水土里ネット愛知用水の職員が講師として出前授業を実施しました。授業は3時間目に行われ、愛知用水の歴史や役割について学ぶ内容となりました。

授業は春日井事務所職員が「愛知用水がどうしてできたのか」を紙芝居形式でわかりやすく説明し、「愛知用水はどのように使われているのか」については、愛知用水ブックを活用しながら、「職員の仕事」や「水の大切さ」にも触れました。児童たちは真剣なまなざしで話に耳を傾け、学ぶ意欲がひしひしと伝わってきました。さらに、授業の後半には愛知用水に関するクイズを行い、大いに盛り上がりました。

実施後に実施したアンケートでは、多くの児童が「内容がよく分かった」と答え、「水を大切に使うと思った。」「愛知用水の必要性が分かった。」といった感想が寄せられました。この授業を通して、水の大切さや愛知用水が地域に果たしてきた役割について深く理解してもらえたこと嬉しく思います。

今後もより多くの方に愛知用水の重要性を知っていただけるよう、「21世紀創造運動」の推進に努めてまいります。



職員挨拶・紹介



愛知用水について



愛知用水ブックのお話



愛知用水クイズ